

令和5年度決算の概要

1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化を背景とした生産年齢人口の減少と社会保障費が増加していく状況において、公共施設等の老朽化対策や予測できない自然災害への備え、さらには地域社会のデジタル化の推進など、様々な課題に対する取組が求められており、依然として厳しい状況にある。

このような状況の中、本市においては、国からの交付金などを活用しながら、エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策を実施するとともに、第6次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の3年目として計画に掲げた事業を推進し、「活力ある暮らしやすいまちづくり」に向けた様々な施策を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計31,994,397千円、国民健康保険特別会計7,604,690千円、介護保険特別会計6,517,329千円、後期高齢者医療特別会計1,099,120千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

(1) 主な新規事業

ア 公共交通整備事業

利用者の快適性向上、環境負荷低減を促進するため、多々良巡回線において電気バスを導入した。

イ 認定こども園化事業

南こども園整備工事設計を実施した。

ウ デジタル地域通貨発行事業

新しい生活様式に対応したデジタル地域通貨の運用を開始したほか、2度にわたりプレミアムキャンペーンを実施し、デジタル地域通貨の普及を図るとともに、市内の消費促進及び事業者支援を行った。

エ サイクリングターミナル運営

サイクリングターミナル改修工事を実施するとともに、南側公園用地施設新築工事を開始した。

オ 都市再生整備計画事業

太陽の園改修工事設計を実施した。

カ 公園競技施設管理運営

ダノン城沼アリーナ空調設備等改修工事を開始した。

キ 小学校施設整備事業

第八小学校外壁改修工事及び第九小学校トイレ改修工事を実施した。

ク 中学校施設整備事業

第三中学校普通教室棟防水改修工事を実施した。

ケ 文化会館運営

文化会館会館棟トイレ改修工事を実施した。

(2) 主な継続事業

ア 日本遺産推進事業

館林市「日本遺産」推進協議会が実施する地域活性化事業に対する支援を行った。

イ ほ場整備事業

ほ場整備による農地の大区画化、担い手への集積・集約化を図るため、野辺地区及び大島地区において測量設計や調査を実施した。

ウ 産業団地造成事業

産業団地の造成を進めるため、調査設計や付帯工事を実施した。

エ 中央通り線道路改良事業

平成28年度から令和11年度までの14か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地307.92㎡の取得と5件の補償を実施した。

オ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和61年度から令和15年度までの48か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路舗装工事212.5m等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から令和9年度までの39か年継続事業として整備を進めているが、本年度は4戸6棟の建物移転等を実施した。

・西部第二地区

平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事362.8m、9戸15棟の建物移転等を実施した。